

◇令和4年／2022年5月号 第102号◇

# 会 産経国際書会 報



SANKEI INTERNATIONAL SHO ASSOCIATION



令和4年度総会で挨拶する飯塚浩彦会長（産経新聞社代表取締役社長）。

コロナ禍で総会が開催されるのは3年ぶり、来年の40回展に向け、さまざまな記念事業に取り組み、書の素晴らしさを世界に伝えたいと誓いました。



産経新聞社  
代表取締役社長  
飯塚 浩彦

## 力を合わせて

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

コロナ禍も3年目に突入し、日本社会においてもコロナとの共生が経済だけでなく、文化の面でも強く求められています。それは書道界においても同様です。

産経国際書会では幸い、昨年度も夏の書展や新春展を無事に開催することが出来ました。

ただし、長年の課題として、書道人口の減少や高齢化に直面しており、産経も夏の出品点数がコロナ前の水準に戻っておりません。

そういった問題への対応や産経の独自性の強化、来年の40回展記念事業の構築を一層進めるためにも、山下海堂先生に最高顧問として就任いただくほか、高橋照弘先生を理事長代行に、建部恭子先生、町山一祥先生には副理事長として新たに加わっていただきます。

風岡五城理事長を支える体制をさらに強化し、将来の書会の礎を築く課題に一つ一つ取り組んでいただきたいと思います。

また、ジュニアからU23、国際書展への出品といった継続性、書道から離れた人にも戻っていただきやすい環境整備、一般の方にも興味を持ってもらえる魅力ある試みなども進めて参りたいと思います。

そのためにも、書会と新聞社がこれまで以上に力を合わせて歩んでいく体制作りが重要と考えております。引き続き皆様方のご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



産経国際書会  
理事長  
風岡 五城

## 新体制でスタート

令和4年度の総会がサンケイプラザにおいて開催されました。コロナの感染拡大によって対面での開催は3年ぶりとなります。

コロナについては未だ安心できる状況にはなっていませんが、書会の活動も徐々に平常に向かって行くことが期待されるところです。出来るか出来ないかというより、どうすれば出来るかを考え、常に前向きに対応していく姿勢を貫き通していきたいと思います。

事業の面では、2年連続で中止されていた研修会を是非にも実施したいと考えています。時期は9月下旬に、会場もこれまでとは別会場を予定しています。これからの書会をになう人たちの実力向上を図ることは書会の使命といっていいでしょう。

さらに書会全体のレベルアップにつなげていかねばなりません。

役員人事ではコロナ禍によってこのところ大きな動きはありませんでしたが、今年度は理事長代行に高橋照弘氏、副理事長に建部恭子氏、町山一祥氏を、さらに常務理事、専管理事にも若干名を加えて書会の活性化を期待する人事となりました。書会が元気になれば人もまた元気が出ます。その逆もまた然り、書会と人は表裏一体です。

来年は40回の節目の年を迎えます。充実した記念展を向かえるためにもこの一年は大事です。会員各位の一層のご理解・ご支援を切に申し上げる次第です。



# 令和 **4** 年 産経国際書会総会 開催



令和4年度産経国際書会の第38期通常総会が4月14日、東京都千代田区の手町サンケイプラザで開かれました。コロナ禍で総会が行われるのは3年ぶり。はじめに産経国際書会会長である飯塚浩彦産経新聞社代表取締役社長から「第40回展に向け、さまざまな記念事業に取り組み、書の素晴らしさを世界に伝えていこう」と挨拶がありました。風岡五城理事長の進行で、議事録署名人に北野香春、武翠泉両専管理事が選出され、37期事業、決算の報告があり、38期計画、予算などを審議し、各議案とも満場一致で承認されました。



## 議案

1. 令和3年度・第37期(令和3年4月1日～4年3月31日)の事業報告
2. 令和3年度・第37期(令和3年4月1日～4年3月31日)の収支報告
3. 令和4年度・第38期(令和4年4月1日～5年3月31日)の事業計画
4. 令和4年度・第38期(令和4年4月1日～5年3月31日)の予算
5. 人事案件

# 第37期 事業報告

## ◆令和3年度総会

令和3年4月15日(木)、大手町サンケイプラザで予定していた総会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、書面にての審議とした。総会資料を1,528人の全会員に送り、全体の3分の1以上である818人から回答書が返送され、第36期の決算、事業報告の了承と第37期の予算、事業計画、人事などを承認とした。

## ◆第38回産経国際書展

**審査会** 審査日 令和3年5月24日(月)～5月27日(木)  
会場 東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)  
審査員のべ44人、うち13人が特別選考委員

**展覧会** 会期 7月27日(火)～8月3日(火)  
会場 東京都美術館 ロビー階及び1階第1、2、3、4展示室

作品数 5,280点 入場者2,998人  
(昨年は5,119点2,062人)

**贈賞式** 7月29日(木)大手町サンケイプラザ  
1部 13:00～14:00 公募、会友の受賞者 57人出席  
2部 15:00～16:00 無鑑査、審査会員の受賞者 29人出席  
※2部終了後、上位特別賞受賞者8人と高円宮妃殿下との懇談会を行った。

【イベント】テーブルカット、揮毫会、ギャラリートーク、ワークショップなどイベントは行わなかった。

【特別展】①特別色紙展＝御題は「命」と「醫」、応募は46点(昨年は55点)。

②「書」でつなぐ世界と日本は企画の集大成として第35回展から昨年まで32か国と交流して、揮毫していただいた全ての作品を「2020東京オリンピック」を記念して展示した。

③韓国書壇をリードする鄭道準(ジョンドジュン)国際書芸家協会会長ほか代表書家8人の作品を招待展示。出品者は、鄭道準、曹首鉉、李周炯、金基東、韓泰相、鄭雄杓、李鍾宣、朴世鎬

④特別展示＝芸能人、文化人の書 4人  
中山秀征、松村雄基、藤田三保子、岡部まり

【ブルー大使館友好賞】今回より新設、理事以上の役員から選出。第38回展は岡野蒼生理事が受賞

## ◆2021産経ジュニア書道コンクール

会期 令和3年7月27日(火)～8月3日(火)

会場 東京都美術館 2階第4展示室

作品数 10,440点 入場者数3,871人  
(昨年は5,571点1,106人)

**贈賞式** 7月31日(土)、東京都美術館講堂 11:00～16:00  
5部構成として実施。いきいき賞、ジュニア賞B部門、ジュニア賞A部門、中学生以下特別賞、高校生部門の5つ

※席書会、ワークショップは中止とした。

## ◆2021産経国際書会 夏期研修会

令和3年8月14日(土)、15日(日)、大手町サンケイプラザ4Fホールで実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

## ◆第38回産経国際書展 東北展

会期 令和3年9月17日(金)～9月22日(水)

会場 仙台市・せんだいメディアテークギャラリー 6階

作品数 204点 入場者数905人

贈賞式 ホテルメトロポリタン仙台(受賞者のみ参加)

## ◆第38回産経国際書展 瀬戸内展

会期 令和3年9月28日(火)～10月3日(日)

会場 広島市・広島県立美術館

作品数 269点 入場者数591人

贈賞式 広島県立美術館講堂(受賞者のみ参加)

## ◆第38回産経国際書展 中部展

会期 令和3年11月2日(火)～11月7日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

作品数 344点 入場者数1,018人

贈賞式・祝賀会 ガーデンパレス名古屋

## ◆第38回産経国際書展 関西展

会期 令和3年11月23日(火・祝)～11月28日(日)

会場 大阪市立美術館

作品数 398点 入場者数998人

贈賞式 11月27日(土)、28日(日)、会場内で希望者に賞状、トロフィー授与

## ◆令和3年度理事会

令和3年12月1日(水)、大手町サンケイプラザで予定していた令和3年度理事会は新型コロナウイルス拡大(第6波)のため中止とし、書面にての審議とした。理事会資料を178人の対象の先生に送り、全体の3分の1以上である151人から回答書が返送され、全ての議案について了承を得た。

## ◆第38回産経国際書展 新春展

開催日 令和3年9月16日(木)

国立新美術館 地下1階審査室

公募締切 令和3年12月3日(金)

国立新美術館 地下1階審査室

会期 令和4年1月26日(水)～2月7日(月)

会場 国立新美術館

作品数 845点 入場者1,961人

大 作 加藤桂谷評議員、加藤松亭評議員、植村良華(審査会員)、田中秋芳(審査会員)、石原圭芳(無鑑査会員)の5人

贈賞式 1月27日(木)午後2時～2時40分

国立新美術館講堂

※初日のテーブルカット、ギャラリートークは中止した。

## 第38期 事業計画

### ◆第39回産経国際書展 審査会

会 期 令和4年5月31日(火)～6月2日(木)  
会 場 東京都立産業貿易センター台東館6F  
※5月30日(月)は作品搬入、懇親会はなし

### ◆2022産経ジュニア書道コンクール 審査会

会 期 令和4年6月27日(月)※28、29日に作品整理  
会 場 東京都美術館 地下3階第2作業室B、  
審査室A・B

### ◆第39回産経国際書展

会 期 令和4年8月14日(日)～8月21日(日)  
会 場 東京都美術館 ロビー階、1階第1室～第4  
室、2階第1、2室(計10室)  
贈賞式 8月18日(木)明治記念館 午後1時～

### ◆2022産経ジュニア書道コンクール

会 期 令和4年8月14日(日)～8月21日(日)  
会 場 東京都美術館 2階第3、4室  
贈賞式 8月17日(水)東京都美術館講堂 午前11時～

### ◆第39回産経国際書展 関西展

会 期 令和4年8月24日(水)～8月28日(日)  
会 場 京都市京セラ美術館  
贈賞式 8月27日(土)  
みやこめっせ大会議室 午後2時～

### ◆第39回産経国際書展 東北展

会 期 令和4年9月13日(火)～9月18日(日)  
会 場 宮城県美術館  
贈賞式 9月18日(日)  
ホテルメトロポリタン仙台 午後3時～

### ◆2022年秋期研修会

会 期 令和4年9月下旬(予定)  
会 場 (会場未定)  
内 容 臨書を学ぶ  
※5月9日概要決定18P参照

### ◆第39回産経国際書展 瀬戸内展

会 期 令和4年9月27日(火)～10月2日(日)  
会 場 広島県立美術館  
贈賞式 10月1日(土)  
広島ガーデンパレス 午後2時～

### ◆第39回産経国際書展 中部展

会 期 令和4年11月15日(火)～11月20日(日)  
会 場 愛知県美術館ギャラリー  
贈賞式 11月20日(日)  
ホテル名古屋ガーデンパレス 午後12時～

### ◆令和4年度理事会

会 期 令和4年11月30日(水) 午後2時～  
会 場 大手町サンケイプラザ311・312号室

### ◆第39回産経国際書展 新春展

会 期 令和5年1月25日(水)～2月6日(月)  
会 場 国立新美術館  
贈賞式 1月26日(木)  
国立新美術館3階講堂 午後2時～(予定)

## 第37期 決算と第38期 予算

税別

| 区分 | 第37期    |            | 第38期       |
|----|---------|------------|------------|
| 収入 | 予算      |            | 予算         |
|    | 会費収入等   | 85,500,000 | 82,281,654 |
| 支出 | 事業費     | 17,000,000 | 15,735,185 |
|    | 国際書展出品料 | 31,000,000 | 29,355,454 |
|    | その他運営費等 | 37,500,000 | 31,482,038 |

### 会費収入 (単位:円)税別

| 区分    | 第37期決算     | 第38期予算     |
|-------|------------|------------|
| 審査会員  | 47,665,002 | 49,000,000 |
| 無鑑査会員 | 22,155,454 | 22,000,000 |
| 会友    | 11,533,636 | 11,000,000 |
| 計     | 81,354,092 | 82,000,000 |

### 出品料 (単位:円)税別

| 区分         | 第37期決算     | 第38期予算     |
|------------|------------|------------|
| 審査会員(3万円)  | 16,309,091 | 17,818,818 |
| 無鑑査会員(2万円) | 8,836,364  | 9,090,909  |
| 会友(1.3万円)  | 4,195,455  | 4,727,273  |
| 計          | 29,340,909 | 31,000,000 |

# 第 37 期 産経国際書会役員

2022. 4 ~ ○=新任(敬称略 50音順)

|             |        |        |        |        |        |  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 【会 長】       | 飯塚 浩彦  | 村越 龍川  | ○山下 海堂 |        |        |  |
| 【最高顧問】      | 齋藤 香坡  |        |        |        |        |  |
| 【会長代行】      | 伊藤 富博  |        |        |        |        |  |
| 【名誉顧問】      | 生田 博子  | 石川 天瓦  | 竹澤 玉鈴  | 手島 泰六  | 平方 峰壽  |  |
|             | 本多 道子  |        |        |        |        |  |
| 【常任顧問】      | 今口 鷺外  | 岩下 鳳堂  | 岩田 正直  | 上野 鶴陽  | 佐藤 志雲  |  |
|             | 青陽 如雲  | 田村 政晴  | 原田 圭泉  | 宮崎 春華  |        |  |
| 【顧 問】       | 五十嵐光子  | 小名 雪王  | 加藤 深流  | 白崎 菖汀  | 三上 錦水  |  |
|             | 望月 曉云  |        |        |        |        |  |
| 【客員顧問】      | 齋藤 華秀  | 晋 鷗    | 高畑 常信  | 武田 厚   | 竹中 幸生  |  |
|             | 趙 白鶴   | 平方 研水  | 劉 洪友   |        |        |  |
| 【参 与】       | ○木住野 栄 | 木村 春峰  | 久保 翠雪  |        |        |  |
| 【理 事 長】     | 風岡 五城  |        |        |        |        |  |
| 【理事長代行】     | 坂本 香心  | ○高橋 照弘 | 渡邊 麗   |        |        |  |
| 【副理事長】      | 今田 篤洞  | 岩浅 写心  | 勝田 晃拓  | 金丸 鬼山  | 高木 撫松  |  |
|             | 高頭 子翠  | 武富 明子  | ○建部 恭子 | 正川 子葉  | ○町山 一祥 |  |
|             | 松井 玲月  | 松崎 龍翠  | 村田 白葉  |        |        |  |
| 【専務理事兼事務局長】 |        | 糸 雅人   |        |        |        |  |
| 【事務局次長】     | 山口 邦泰  |        |        |        |        |  |
| 【常務理事】      | 青木 錦舟  | 赤堀 翠柳  | 浅香 秀子  | ○石井 理春 | 泉 芳秋   |  |
|             | 磯邊 哲舟  | 伊藤 春魁  | 伊東 玲翠  | 今井 翠泉  | 岩田 蕙雨  |  |
|             | 岩村 恵雲  | 上村 陽香  | 江戸 秀虹  | 遠藤 乾翠  | 大庭 清峰  |  |
|             | 大橋 玉樹  | 岡本 杏華  | 小川 艸岑  | 小名 雪揺  | 小野 亭良  |  |
|             | 鎌田悠紀子  | ○菊山 武士 | 黒田 浩芳  | 小杉 修史  | 後藤 教子  |  |
|             | 斎藤 秀翠  | 五月女紫映  | 眞田 朱燕  | 鈴木 青苑  | ○鈴木 博子 |  |
|             | 鈴木 祐洞  | ○田島 青谷 | 戸叶 幽翠  | 長尾 佳風  | 永田 龍石  |  |
|             | 中野 和博  | 中村 雪鷺  | 西尾 秀誠  | 西川 万里  | 野崎 俊江  |  |
|             | ○林 龍成  | 人見 恵風  | 堀江 宣久  | ○諸留 大穹 | 山本 晴城  |  |
|             | 吉野 富龍  | 渡邊 祥華  | 渡部美恵子  |        |        |  |
| 【専管理事】      | 青柳 光草  | 安蒜 欣青  | 生田 佳葉  | 遠藤 香葉  | ○及川 扇翠 |  |
|             | 老川 揺舟  | ○大田 桂水 | 小野澤美香  | 加藤 香誓  | 北川 佳邑  |  |
|             | 北野 香春  | 木村 大澤  | 小泉 玲洸  | 小林 紫雲  | 近藤 豊泉  |  |
|             | 佐藤 志陽  | 篠原 秀朋  | 莊司 欣水  | 菅原 有恒  | 杉原 静花  |  |
|             | ○鈴木 曉昇 | 鈴木 愚山  | 鈴木 蓉春  | 諏訪 春蘭  | ○高野 彩雲 |  |
|             | 武 翠泉   | 竹内 美翠  | 橘 圭子   | 鶴田 秀紅  | 富田 静流  |  |
|             | 中野 桂月  | 西尾 蘭畦  | 芳賀 祥緑  | 羽根田和香  | 久田 方琥  |  |
|             | 菱沼 東坡  | ○平岡 雄峰 | ○前田 聖峰 | 眞々田壽扇  | 三橋 和泉  |  |
|             | ○三宅 秀紅 | 本橋 春景  |        |        |        |  |

|      |        |        |        |        |        |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【理事】 | 石井 思水  | 伊藤 牙城  | 今井 軒石  | 岩田 和道  | ○岩間 桃香 |
|      | 上田 智子  | 梅内 春藍  | 大川 詢子  | 大澤 芳洲  | 大段 栄泉  |
|      | 大場 映翠  | 大久 恵華  | 大八木雅山  | 岡野 蒼生  | 岡村 公裕  |
|      | 刑部 翠風  | 小名 玉花  | 小野 左鶯  | 恩田 瑞貞  | 影山 瑤琴  |
|      | 梶谷 綾泉  | 加柴 律子  | 加藤 竹藜  | 加藤 芳珠  | 久米 麗鳳  |
|      | 小杉 秀花  | ○五戸 光岳 | 小林 千津  | 小宮 求茜  | ○今野 美晁 |
|      | 斎藤 修竹  | ○齊藤 春欣 | 酒井 竹風  | 佐武 照聲  | 沈 彊    |
|      | 鈴木 蒼   | 鈴木 葉光  | 関根 史山  | 関根 春峰  | 瀬戸 桂舟  |
|      | 高橋 峰月  | 田中 龍渕  | 谷 蒼涯   | 玉木 白雲  | 玉田 子翠  |
|      | 辻 和雲   | 長瀬 沙焱  | 中塚 龍華  | 中平 博子  | 長谷川明扇  |
|      | 早坂 喜伊  | ○林 清方  | 平本 一恵  | ○藤井 峯子 | ○布施 夏翠 |
|      | 古谷 華楓  | 松岡 篁月  | 松岡 舟波  | ○蓑口 草川 | 宮川 彪子  |
|      | ○宮崎 礼子 | 宮平 翠玲  | 村越 弘鷹  | 村瀬 敢山  | 室伏 雅篝  |
|      | 盛田 理泉  | 柳 鵬翔   | 山下 翠風  | ○山田 娃泉 | 山田 華萌  |
|      | 山田 秀園  | 横溝 景陽  | 吉本 麗竹  | ラモス逸子  | 和田 玲砂  |
|      | ○渡邊麻衣子 | 渡辺 龍泉  |        |        |        |
|      | ○河口 美櫻 | ○柴山 枝峯 |        |        |        |
| 【監事】 | ○愛澤 奏剣 | 阿久津由美  | 有友 啓扇  | 飯田恵美子  | 井形 大正  |
|      | 石井 政子  | 石川 杏華  | 石川 溪舟  | 石川 秀苑  | 石川 由美  |
|      | 石黒 鴻羽  | 伊藤 秀泉  | ○岩澤 翠汀 | 植田 泰之  | 圓田 翠泉  |
|      | 黄木 孝一  | 大木 翠晃  | ○大毛 青舟 | 大田 美州  | 大竹 翠葉  |
|      | 大谷 芳雨  | 岡崎 洋翠  | 小笠原素心  | 岡林 御舟  | 小谷 翠谷  |
|      | ○小野寺佐苗 | 梶井 香龍  | 加藤 桂谷  | 加藤 松亭  | 加藤 石泉  |
|      | 加藤 遊墨  | カレン紅鸞  | 河原畑静揚  | 木谷 峰水  | 木村 翠川  |
|      | 熊切 溪石  | 倉賀野静子  | 小久保里子  | 小嶋カズ子  | 小関 麗翠  |
|      | 齋藤 欣江  | ○坂井 光泉 | 定野 桂雪  | 佐藤マス子  | 澤村 春泉  |
|      | 篠原 寒鵬  | 清水 小舟  | ○清水 碧沙 | ○末永 香雅 | 菅井 裳雲  |
|      | ○杉原 和香 | 鈴木 邦仙  | ○須山 馨扇 | 高橋 翠石  | ○高橋 雄喜 |
|      | ○田嶋 華翠 | 橘 黄華   | ○田中 春畝 | 田端 香峰  | 塚原 桃虹  |
|      | 津久井桂葉  | 土田 芳水  | 銅山 桂銅  | ○中井 悦子 | 永田 昌子  |
|      | 中西 美蕙  | ○中西 儼  | 中村 蘭香  | 野尻 春華  | 波多野久美  |
|      | 羽根田菖風  | 林 弘子   | ○日野 翔鳳 | 平野 恵亮  | ○福島 恭子 |
|      | ○福田 世英 | ○藤井 玉咲 | 藤村 満恵  | 降幡 加津  | 古谷 紫水  |
|      | 星野 秀水  | ○星野 葉柳 | 堀川 梨華  | ○正光 紅雲 | 町田 武山  |
|      | 松岡 静仙  | 松戸 清玲  | 松永 光鳳  | 水原 白姚  | 三谷 旭心  |
|      | 三宅 華子  | ○宗像 翠龍 | 森田 香深  | 八木 一華  | 矢崎 藤香  |
|      | 山口 了世  | 山崎 玉松  | ○山村 萌扇 | 山本てるみ  | 横田 玉華  |
|      | 米山 石峯  | 渡辺 敦子  | 渡邊 正峰  |        |        |

※名誉顧問の本多道子先生は、令和4年4月28日ご逝去されました。



---

## 新役員からひとこと

---



山上海堂最高顧問

来年は40周年を迎える。昨今、感じることは新聞社と書会が気概と努力により、多難を乗り越えて今に至るという事である。日本の幾多ある書会のなかで、間口の広さは随一と言えよう。次への展開は地方展の開催をより幅広く行うことである。現状は総括会議(副理事長)が中心に意見交換がなされているが、同時に40年の経歴をもつ顧問への呼びかけも必要と認識している。ともあれ新聞社と書会のコミュニケーション、懇談に優るものはないのではなかろうか。次は全力集中のもと一体となり40周年記念展に向かうことである。個性を尊重する産経国際書会がより活力ある未来に向かうことを念じてやまない。



建部恭子副理事長

このたび副理事長を拝命しました。第1回展からお世話になり、毎回大先生方の作品に感動し、また刺激を受け、いろいろと学ばせていただきました。私にとって、産経展という大舞台があったからこそ成長することが出来たのだと思い感謝致しております。この感謝の気持ちをお返しするべく、お役をお引き受け致しました。来年は40回という節目の記念展を迎えますが、皆が一丸となって盛り上げて、是非成功へと導いていければと思っております。産経の4Cの理念を基に、書会が更に飛躍、発展し、また、魅力ある会になるように、微力ではありますが精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



町山一祥副理事長

この度、副理事長という大役を仰せつかり、微力ながら書会の発展と会員の皆様の書活動のお手伝いができれば幸甚に存じます。コロナ禍にあって、書を学ぶ環境は、学校や書道教室の閉鎖によって閉ざされてしまいました。しかし、自粛生活の中で、自分を見つめる時間が増加し、書とじっくり向き合えることができたのも事実です。作者は、作品として作り上げたものを誰かに見てほしいという願望を常に持ち合わせています。それはSNSなどによる発信の多さが物語っています。この考え方がこれからの展覧会というものに転用できれば、新たな発信の方法が見出せるのかもしれません。コロナウイルスは、確かに私たちにとって災いでしかありませんが、これを事実として捉え、コロナ禍での書活動を皆様と一緒に考えて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 新しく審査会員になられた方

|       |      |       |      |      |      |      |       |      |
|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|
| 石原圭芳  | 市原蘇水 | 伊藤君代  | 井上空咲 | 岩井玲翠 | 岩佐登花 | 内田子鴻 | 梅田ちか子 | 大野明子 |
| 小野澤竹峰 | 小渕翠竹 | 片山寿美子 | 可知悦子 | 亀山鳳琳 | 神田景水 | 久保秀竹 | 小林紫泉  | 櫻本静月 |
| 佐藤津香  | 佐藤白楊 | 鈴木知夏  | 田丸昂衛 | 千島耿風 | 坪井駿泉 | 富岡桃翠 | 中畦峰月  | 中島彩紅 |
| 中本江翠  | 野口聖扇 | 原田仰月  | 福島白苑 | 松井遊舟 | 松本玉葉 | 丸井茜笙 | 丸山京華  | 森井爽生 |
| 李 若娜  |      |       |      |      |      |      |       |      |

## 新しく無鑑査会員になられた方

|       |      |      |      |       |      |      |      |       |
|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|
| 有賀瑚風  | 石和 泉 | 伊藤汀花 | 伊藤白蓮 | 伊藤柳絮  | 大澤華陽 | 片山彩幽 | 加藤芳丘 | 金子静堂  |
| 川口久美子 | 河村雪華 | 北口苗女 | 北澤花舟 | 河野正子  | 腰原佳恵 | 五月久枝 | 嵯峨帶琳 | 酒井雅代  |
| 榊田育代  | 坂本柏堂 | 柴田祥鶴 | 島田昌広 | 鈴木記久子 | 鈴木雪華 | 鈴木裕子 | 竹田倫吏 | 武野溪園  |
| 田中爽花  | 土田真山 | 常松昇儼 | 長瀬恵歌 | 中山溪岑  | 西川玲華 | 仁科安博 | 袴田春汀 | 波多野美麗 |
| 弘重輝扇  | 福田恵琳 | 牧野友里 | 増田一翠 | 松江みち子 | 松尾健太 | 宮本香祥 | 望月慶雲 | 本山鈴翠  |
| 柳田朋真  | 山崎佳秀 | 山田清風 | 柚木笙遥 | 横山恵華  | 吉田早織 | 吉田 悟 | 渡邊一甘 |       |

## 新しく会友になられた方

|       |       |        |      |       |       |       |      |       |
|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|------|-------|
| 秋廣空曉  | 浅野徳子  | 五十嵐千鶴子 | 生澤青南 | 池沼美柳  | 伊古田成風 | 伊藤雅子  | 猪原 忍 | 岩崎婉水  |
| 上田尾桜香 | 上村章紀  | 宇田川翠扇  | 内田涼月 | 浦野明子  | 大岡宵雨  | 大熊扇華  | 太田順子 | 岡田知則  |
| 小田清扇  | 小野由里彩 | 小山恵里香  | 梶原寿泉 | 梶原峰月  | 加藤柳仙  | 兼綱桂花  | 菅 楓花 | 神田涼月  |
| 北野寛子  | 國宗奈緒美 | 栗原昇蘭   | 後藤流仙 | 小西桜吟  | 齋藤瑛香  | 斉藤麗春  | 榊原比呂 | 佐久間清峰 |
| 佐田楊苑  | 佐藤曉光  | 澁谷心水   | 下笠紅娟 | 重城佳春  | 城野龍宗  | 新宮紫堇  | 杉浦凜昇 | 杉村紫游  |
| 鈴木康子  | 須藤只煌  | 瀬川永扇   | 高野瑞紅 | 高松亮子  | 滝沢鯉扇  | 田口しげよ | 武石扇英 | 龍輪真紀  |
| 崔 尹禎  | 津田玉華  | 津田芳華   | 恒川玲舟 | 角田佳寿子 | 藤内久美子 | 利光竹心  | 中川嶺泉 | 中原真紀  |
| 中村玉蘭  | 沼尻石頭  | 根岸彩風   | 昇 宏喜 | 埴岡揆進  | 林 薫禎  | 林 千尋  | 飛田瑞桜 | 廣瀬麗香  |
| 藤井優子  | 藤田志春  | 布田寿子   | 堀田美紅 | 堀野豊泉  | 本田蘭扇  | 松岡幸子  | 松永昇蓮 | 松橋艸路  |
| 松本昇薇  | 三島曉翠  | 水田藍扇   | 横田照葉 | 和田悠粹  | 渡辺昌弥  | 綿貫いづみ | 渡 淳子 |       |

## 第 39 回 産経国際書展 新実行委員長からひとこと



### ご協力を

実行委員長 理事長代行 高橋照弘

この度は第39回産経国際書展実行委員長を仰せ付けられました。まさに青天の霹靂であり、身の引き締まる思いです。大任を果たすことが出来るのであろうか、自問自答を繰り返しています。不安は湧き興る雲のごとく胸中に次々に押し寄せ充満して重苦しくさえ思えます。しかし、お引き受けした以上瑣事は片脇に置いて任を全うしなければなりません。前任の岩浅先生の絶妙なる采配には到底力及ばぬことは自認しているところです。先生より実行委員長としての心構え運営等々じっくりとお話を伺い、指導を仰ぎ引き継いで参ります。各部間の意思疎通、調整を緊密に図り円滑な運営ができるようにしていきたいと考えています。私個人の力は甚だ微力であります。実行委員の先生方、皆さま方の協力は是非とも必要であります。どうぞよろしくお願いいたします。

また、本年度より理事長代行の重責を担うこととなりました。仕事は副理事長としての役割と特段に変わることはありません。責任の比重は従前より増すことになります。これまで同様風岡理事長を理事長代行、副理事長ともども支え、書会の地盤をより磐石にし、書会をさらに大きく飛躍出来るよう汗をかいてまいります。

## 第 39 回 産経国際書展 審査員

### ●特別選考委員

石川天瓦、岩田正直、岡部昌幸、風岡五城、齋藤香坡、青陽如雲、晋鷗、竹澤玉鈴、田村政晴、手島泰六、鍋島稲子、原田圭泉、村越龍川、山下海棠、渡邊麗

### ●漢 字

岩下鳳堂、及川扇翠、大田桂水、大庭清峰、小野秀美、勝田晃拓、北野香春、坂本香心、鈴木曉昇、高木撫松、武翠泉、土田芳水、平岡雄峰、松永葵心、山本晴城

### ●か な

伊藤春魁、今口鷺外、加藤芳珠、鎌田悠紀子、齊藤春欣、谷蒼涯

### ●現代書

大谷芳雨、菊山武士、斎藤修竹、五月女紫映、佐野麻理子、高頭子翠、三宅秀紅、宮崎礼子、山下翠風、渡邊麻衣子

### ●篆刻・刻字

風岡五城、澤村春泉、高橋照弘、町山一祥

### ●臨 書

岩浅写心、岩間桃香、金丸鬼山、齊藤華秀、中村雪鷺、松井玲月

### ●U23

今田篤洞、大谷煌水、眞田朱燕、武富明子、松崎龍翠

※外部審査員 特別選考委員＝岡部昌幸(群馬県立近代美術館特別館長)  
鍋島稲子(台東区立書道博物館主任研究員)

# 第 39 回 産経国際書展実行委員会

|              |                                                                                                                                |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【実行委員長】      | 高橋照弘                                                                                                                           |
| 【審査部】        | 本部長 村田白葉                                                                                                                       |
| 漢字部          | 部長 吉野富龍 副部長 本橋春景<br>委員 石川晴空、菅井裳雲、十亀紫風、横溝景陽                                                                                     |
| かな、篆刻・刻字、臨書部 | 部長 永田龍石 委員 進藤栄峰、松岡篁月、宮川姦子                                                                                                      |
| 現代書部         | 部長 西川万里 委員 恩田瑞貞、河口美櫻、小杉秀花、早坂喜伊                                                                                                 |
| 【搬出入部】       | 部長 磯邊哲舟 副部長 伊東玲翠<br>委員 梶谷綾泉、神谷映水、塚原桃虹、村山蛍泉、矢野春潮、横田玉華                                                                           |
| 【陳列部】        | 部長 山本晴城 副部長 永田龍石、渡邊祥華<br>委員 阿久津由美、安蒜欣青、泉芳秋、伊藤春魁、老川揺舟、大場映翠、岡村公裕、加藤松亭、五戸光岳、柴山枝峯、鈴木曉昇、鈴木蓉春、関根史山、中野和博、林龍成                          |
| 【図録部】        | 部長 今田篤洞 副部長 岩村恵雲、青木錦舟<br>委員 大久恵華、恩田瑞貞、久米麗鳳、諏訪春蘭、高橋峰月、武翠泉、中村蘭香、村山螢泉                                                             |
| 【東京部会】       | 部長 武富明子 副部長 黒田浩芳<br>委員 岩間桃香、久米麗鳳、関根春峰、平本一恵、山下翠風                                                                                |
| 【東北展】        | 顧問 田村政晴 実行委員長 松崎龍翠 事務局長 建部恭子<br>実行委員 大橋玉樹、小嶋カズ子、五戸光岳、鈴木葉光、芳賀祥緑、宮崎礼子、渡部美恵子、渡辺龍泉                                                 |
| 【瀬戸内展】       | 顧問 宮崎春華 実行委員長 大庭清峰 副実行委員長 上村陽香<br>実行委員 大田桂水、吉本麗竹、石井思水、平岡雄峰、大段栄泉、松岡舟波、三宅秀紅、鈴木蒼、圓田翠泉、田中春畝、曾根小徑、田中吳峰、美之口琴晴                        |
| 【中部展】        | 顧問 村越龍川、風岡五城 実行委員長 村田白葉<br>副実行委員長 勝田晃拓、山本晴城、渡邊祥華<br>実行委員 赤堀翠柳、磯邊哲舟、伊藤春魁、老川揺舟、大場映翠、岡本杏華、刑部翠風、菊山武士、木村大澤、小泉玲洸、佐武照聲、田中龍淵、村越弘鷹、和田玲砂 |
| 【関西展】        | 顧問 平方峰壽、今口驚外 実行委員長 松井玲月 副実行委員長 正川子葉<br>実行委員 小野亭良、長尾佳風、中村雪鷺、久田方琥、西尾蘭畦、篠原秀朋、生田佳葉、竹内美翠、上田智子、加藤竹黎、山田秀園、山口了世、山田姓泉                   |

# 第 38 期 産経国際書会運営委員

|               |                                                                         |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 【総務部】         | 担当理事長代行 坂本香心 部長 浅香秀子 委員 鈴木博子、戸叶幽翠、人見恵風                                  |
| 【会報・広報部】      | 担当副理事長 高頭子翠 部長 小川艸岑 委員 影山瑤琴、早坂喜伊、渡邊麻衣子                                  |
| 【企画部】         | 担当副理事長 金丸鬼山 部長 岩村恵雲 委員 大久恵華、恩田瑞貞、北野香春                                   |
| 【研修部】         | 担当副理事長 勝田晃拓 部長 永田龍石 委員 進藤栄峰、松岡篁月                                        |
| 【教育部(ジュニア育成)】 | 担当副理事長 松崎龍翠 部長 眞田朱燕<br>委員 岡田崇花、小池雅游、今野美晃、笹山紅樹、鈴木葉光、高野彩雲、長谷川明扇、星野葉柳、宮平翠玲 |
| 【渉外部】         | 担当副理事長 高木撫松 部長 鎌田悠紀子 委員 遠藤香葉                                            |
| 【会員増加企画(東京)】  | 担当理事長代行 坂本香心、渡邊麗                                                        |
| 【会員増加企画(大阪)】  | 担当副理事長 正川子葉、松井玲月                                                        |
| 【東京】          | 部長 武富明子 副部長 黒田浩芳                                                        |
| 【東北】          | 部長 松崎龍翠 副部長 建部恭子                                                        |
| 【中部】          | 部長 山本晴城 副部長 伊藤春魁                                                        |
| 【関西】          | 部長 松井玲月 副部長 正川子葉                                                        |
| 【瀬戸内】         | 部長 大庭清峰 副部長 上村陽香                                                        |



## 第38回 産経国際書展 新春展



### 第38回新春展を終えて

東京部会部長 副理事長 武富明子

令和4年1月26日に、六本木の国立新美術館で新春展が開幕しました。高齢者をはじめとする3回目のコロナ予防接種が普及し始めましたが、会期中に報道される感染者数は増すばかり。流石に来場者は少なかったのですが、待ち望んでおられた出品者は、ゆっくりと鑑賞ができましたと満足気でした。今年も時間をかけて丁寧なビデオ撮影がなされ配信されました。コロナ禍にあっても何とか道は開けて行くものですね。

コロナが流行しだしてから、開催という方針を貫いてきた産経国際書会です。この度も、マスク着用や仕切りボードの設置、手の消毒のみならず筆や鉛筆の消毒などの予防対策にも配慮しました。

会場メインの第1室には、ゆったりと変化のある作品が展示され、正面奥には大作5点がバランスよく展示。続く審査会員・無鑑査会員の作品には、新春らしい作風も見られ、出口近くには、新春展のみの企画である公募・会友の受賞作品ならびに全作品が展示されました。この企画は、出品料が安価な上に軸装されて手元に帰り、出品者の作品全てが展示されるので大変に人気です。受賞者は産経新聞紙面に掲載され、密を避けるため縮小された形ではありますが、授賞式も行われました。年々出品者数も増加傾向にあります。

六本木の会場に通っていた頃は冬。大変に寒い日が多かったのですが、この原稿を書いている現在は、チューリップが咲き、桜が満開となり、葉桜となり…、季節が巡っていることを痛感致します。この先、コロナの収束はあるのでしょうか。部員の方々と揃って受付業務を担当出来て、展覧会場に人が溢れ、多くの会員の皆様と談笑できる日が来ることを切に願っております。



産経新聞社賞の皆さん



会友奨励賞のお二人



奨励賞受賞者の皆さん



奨励賞受賞者の皆さん

「第38回産経国際書展新春展」は1月26日から2月7日までの12日間、東京・六本木の国立新美術館で開催されました。東京では年明けから新型コロナウイルス感染者数は増加の一途をたどり、会期中には1万を超え、2万人に達する勢いとなりました。また、美術館は特別展の開催もなく、いくつかの公募展も中止や会期を短くするなど淋しい状態でした。それにもかかわらず、来場者は1,961人で、昨年よりも約600人多かったのはうれしいことでした。

36回目となる「代表展」は184点を展示、審査会員・無鑑査会員が出品する新春展Ⅰは、200点が出品されました。会友と、一般を対象とした公募部門である新春展Ⅱには461点の力作が寄せられ、会友奨励賞6点、産経新聞社賞6点、奨励賞38点が受賞の栄誉に輝きました。出品数は昨年に比べて約4%、19点多くなりました。大作は加藤桂谷評議員の現代書、加藤松亭評議員の漢字、審査会員・植村良華さんの現代書、田中秋芳さんのかな、無鑑査・石原圭芳さんの現代書の5点を展示。

27日(木)は、美術館の講堂で午後2時から新春展Ⅱの贈賞式を行い、出席した22人に賞状とトロフィーを手渡しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためテープカット、会場内のギャラリートーク、祝賀会など全てのイベントを中止としました。

また、会場内の展示作品や贈賞式を動画で撮影し、昨年同様に動画配信を行いました。

(事務局)



賑わう会場



代表展会場



大作を臨む



新春展Ⅱ会場



## 書研社とその周辺

書研社 二代目代表  
小川艸岑

1940年に上田桑鳩先生が「現代の書芸術」を追求し、前衛書を発表する国内有数の団体として創立した「奎星会」。その中で競書誌「奎星」が毎月発行され、主幹として小川瓦木が長年に亘りたずさわってきました。会員は北海道から九州まで全国に及び、前衛書の全盛時代を牽引してきました。

「奎星」誌の編集室は、日本橋小網町の古いビルの一角にありましたが、そこは桑鳩先生、宇野雪村先生はじめ、若い書家たちのたまり場であり、活気に満ちあふれていました。

私も高校生の頃、よく遊びに行きましたが、田宮文平先生から学生時代に時々通っていたという話を幾度となく聞かれ、今では懐かしい思い出です。

1968年(昭和43年)桑鳩先生が亡くなれると奎星会は二派に分断、新たに設立されたのが「書研社」です。それにともない競書誌も「奎星」改め「書研」となり、瓦木を柱として桑鳩先生の理念を背景に、現代における書芸術の探究と啓蒙が始まりました。

1969年、瓦木は自らの門下を中心に一焠会を設立し、初代会長に就任しました。瓦木逝去後は、二代目佐藤青龍、現在は三代目石川天瓦が会長を務め、展覧会も今年で第54回展を迎えます。また1977年、桑鳩先生の「創造と情熱」の理念の下、桑鳩門下と共に東洋書芸院を創設し、毎年東京都美術館で展覧会を開催、6月には第46回展を迎えます。さらに1982年、海外に向け



(左)上田桑鳩先生、(右奥)小川瓦木

て現代書を紹介することを目的に、会派を超えた書団体「東洋書人連合」を立ち上げ、これまで15カ国以上で海外展を開催し、32年間国際交流に力を注いできました。

2000年瓦木が亡くなった後、二代目代表として書研社を受け継ぎ現代書の普及と伝播に注力してまいりましたが、少子高齢化による会員の減少、編集のデジタル化等時代も様変わりし、令和元年、瓦木の門弟町山一様に「書研」を一任しました。

現在書研社の活動としては「書研」誌の発行、臨書研究(YouTube)、産経国際書展、東洋書芸院への作品出品をはじめ、会員による社中展を開催しています。一端を紹介すると一焠会書展(東京・石川天瓦)、太陽社展(広島)、音羽会書展、groupF展(東京・諸留大穹他)、墨空会書展(大阪・井上空咲)、布穀会展(東京・鈴木蓉春他)等全国規模で活発な活動を展開しています。



書研社支部の先生方(右)三代目代表



広島・太陽社中の方々

「第39回産経国際書展」特別色紙展の募集

この特別色紙展は第21回産経国際書展からはじまり今回で14回目となります。

高円宮妃久子殿下から、いつもでも無理なく書に楽しく取り組んでいただけるようにという思いで、毎回御題を下賜していただいております。

下記の要項にて実施いたしますので、資格のある先生方は奮ってご出品ください。

|       |                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------|
| 御 題   | 「薬」あるいは「氣」どちらかを選んでください。                                                 |
| 展示場所  | 東京都美術館ロビー階(予定)                                                          |
| 期 間   | 令和4年8月14日(日)～21日(日)                                                     |
| 作品体裁  | 色紙(273mm×243mm) ※数ミリの誤差はかまいません。                                         |
| 出 品 料 | 無料                                                                      |
| 出品資格  | 80歳以上の会員。但し本展出品者に限ります。<br>※会友以上、昭和17年以前(17年生まれは含む)に生まれた先生               |
| 締 切   | 令和4年6月3日(金)必着                                                           |
| 応 募   | 作品に出品票を添えて、搬入先まで直接お申し込み下さい。                                             |
| 搬 入 先 | 藤和額装㈱ 〒234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台7-51-12<br>TEL045(833)5273 FAX045(833)5275 |

- ◎応募いただいた作品は額装して東京本展に展示します(額装代は書会負担)。  
◎各地方展へは当該地方在住者の作品を展示します。  
◎作品は展覧会図録に掲載します。  
◎作品は展覧会終了後、額装のままご返却いたします。
- 【問合せ】産経国際書会事務局 TEL03(3275)8902 FAX03(3275)8974

「産経国際書展」  
今年の題字が決まりました

今年の産経国際書会(第39回)の題字を1月26日から2月28日まで募集しました。会友以上の会員ならどなたでも応募可とし、無料、点数制限なしとしました。そうしたところ、25人74点の応募がありました。デザイナー、事務局、関係者などで審査の結果、常務理事の戸叶幽翠さん(煌心書道会)の作品を採用させていただきました。

1年間、「産経国際書展」の題字として様々な媒体に  
使用して参ります。 (事務局)

[illegible]



# 書展 トピックス

## 泉の会 第20回記念新春展

梶谷綾泉

●会期 1月18日(火)～1月23日(日) ●会場 四街道市民ギャラリー

今回は産経展にここ2年出品した作品、近年私が賞を受賞した作品、小学1年生から88歳までの生徒43人の漢字行書、隸書、臨書、かな、写経など、2年間の練習の成果を一堂に会し展示しました。また、私も含め会員の絵画と20回記念として市ゆかりの画家・三宅策郎氏の遺作も展示しました。561名足らずの入場者ですが、「心が洗われるとか、楽しかった」などのアンケート用紙を見ると嬉しく、また頑張ろうという生徒の言葉を耳にしました。



## 第85回龍峽書道展

林龍成

●会期 2月5日(土)～2月11日(金) ●会場 東京都美術館

“一つの会でこれだけの回数を重ねた展覧会は稀ですね”ご来場いただいた方々からは、こんな言葉をかけて頂いています。初代会長林龍峽が昭和11年に第1回を開催してから今年で85回となりました。作品は関東以外にも、長野、沖縄などからも集まり、一般部266点、学生部770点を展示しました。コロナ禍での開催にも関わらず、多くの方々にご来場いただきましたこと感謝申し上げます。



## 第20回書道 五月女紫映社中展

五月女紫映

●会期 2月13日(日)～2月19日(土) ●会場 東京交通会館2階ギャラリー

昨年は止むを得ず休止としましたが、今年は復活、やはり日頃の勉強の発表の場は、どんなお稽古でも必要です。“表現することは楽しい”をモットーに、自由な発想で作者自身が楽しめる展覧会を目指しております。松村雄基さんもお来場下さり、ご本人が今年産経展に発表する作品について熱く語られました。書会事務局の皆様や諸先生方にご来場賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。



## 第40回記念全国公募・学生部併設煌心展

松崎龍翠

●会期 2月13日(日)～2月19日(土) ●会場 東京都美術館

先師 山田松鶴先生の敬仰作品のお陰で、会場も一層充実し、一般・学生部の皆さんより520余の出品を頂きました。贈賞式は中止となりましたが、出品者やご家族の方々が多数ご来場され、受賞者には会場で賞状を手渡し、喜んで頂くことができました。このような時期ではありましたが、産経関係の諸先生に御来臨を賜り、深く感謝いたしております。



## 小熊春洋古希展

小熊春洋

●会期 2月14日(月)～2月18日(金) ●会場 大宮氷川の杜文化館

コロナ禍でしたが、古希展を開催しまして楷行草隸書と刻書。かなは屏風に百人一首を書いてみました。生徒さん達の作品も好評で誰にでも読める調和体は特に喜んでいただいたようです。次は書道教室50周年を目指して頑張りたいと思います。諸先輩方の書展にも足を運びさらに精進したいと考えております。



## 2022菰水書人社展(林錦洞生誕100年)

林清方



●会期 3月3日(木)～3月6日(日) ●会場 銀座かねまつホール

1980年に前会長林錦洞が創立しました社中展で、創立以来42年間毎年銀座で開催しております。本年も約30点の出品と小規模ではありますが、前会長生誕100年に当たり遺墨を2点展示させて頂きました。三上錦水及び今田篤洞両氏からの指導により社中一同修練に励んでおり、その成果をコロナ禍にも拘わらず大勢の方々にご清覧頂きましたことに感謝いたします。

## 第50回八戸臨泉会書展・第73回八戸臨泉会学生書道展

五戸光岳

●会期 3月11日(金)～3月13日(日) ●会場 八戸市美術館

感染拡大に伴い、本展に限っての新美術館オープン開催でしたが、約500名の来館がありました。故佐々木月花前会長、原田圭泉代表の賛助出品他会員の作品は、大作2点を含め漢字、かな、臨書及び現代書とバラエティーに富み、同時開催の学生書道展作品と合わせ、入賞者には個別に賞状等を授与し、来館者の好評を博し、成功裏に終始しました。



## 諸留大穹個展 vol.9 心 ～伊賀上野への道～

諸留大穹



●会期 4月5日(火)～4月11日(月) ●会場 ART SPACE IGA

「伊賀上野への道」は前衛書が新しい変換に至る意義深い展開となった。古民家3ヶ所と当方の個展が面白い対比をみせ今後の現代書アートを考える貴重な体験となる。また今回作成の図録の販売によるウクライナ支援金はユニセフに送金しました。皆様へのご報告とご協力の御礼を申しあげます。遠路の中お越し下さいまして有難うございました。

## 各会書展お知らせ(産経新聞社後援)〈令和4年6月～10月〉

| 展覧会名                                  | 会期                   | 会場                       | 社中名      | 代表    |
|---------------------------------------|----------------------|--------------------------|----------|-------|
| 個展 片山澄夫 書の世界Ⅱ                         | 6月1日(水)～6月5日(日)      | ゴールデンギャラリー(横浜)           | 子龍会      | 片山澄夫  |
| 第12回青成会書展                             | 6月2日(木)～6月5日(日)      | 銀座大黒屋ギャラリー               | 青成会      | 木住野栄  |
| 中西儼個展                                 | 6月11日(土)～6月19日(日)    | ALAYA(福島県いわき市小名浜)        | 東西書芸会    | 中西儼   |
| 第47回梓書道会展                             | 6月18日(土)～6月19日(日)    | タワーホール船堀                 | 梓書道会     | 市原蘇水  |
| 2022 臨泉会 選抜小品展                        | 6月21日(火)～6月25日(土)    | 銀座鳩居堂画廊                  | 臨泉会      | 原田圭泉  |
| 第56回書峰展                               | 6月25日(土)～6月26日(日)    | じばさんセンター(埼玉県秩父郡)         | 書峰書道会    | 田島青谷  |
| 米国書道研究会創立57周年記念展                      | 7月23日(土)～8月6日(土)     | ロサンゼルス日米文化会館<br>メーンギャラリー | 米国書道研究会  | 生田博子  |
| 第51回墨林綜合書展・<br>第51回学生墨林綜合書展           | 9月1日(木)～9月7日(水)      | 東京都美術館                   | 墨林書道院    | 遠藤乾翠  |
| 第37回全国臨書模刻展                           | 9月16日(金)～9月18日(日)    | 埼玉会館                     | 心芸墨美作家協会 | 岩浅写心  |
| groupF 2022展 vol.6 京都<br>～新たな可能性を求めて～ | 9月30日(金)～10月2日(日)    | 大徳寺 黄梅院                  | groupF   | 井上空咲  |
| 第35回研友社展                              | 10月6日(木)～10月9日(日)    | 銀座かねまつホール                | 研友社      | 金丸鬼山  |
| 明扇書藝會第10回記念書道発表会                      | 10月7日(金)～10月10日(月・祝) | 長野県美術館                   | 明扇書藝會    | 長谷川明扇 |
| 第37回日本総合書作院展                          | 10月13日(木)～10月16日(日)  | 堺市文化館 アルフォンス・ミュシャ館       | 日本総合書作院  | 篠原秀朋  |
| 第8回方琥書院書画展                            | 10月27日(木)～11月1日(火)   | 茨木市立ギャラリー                | 日本書道学士院  | 久田方琥  |
| 第54回一煌会書展                             | 10月28日(金)～10月30日(日)  | 銀座洋協ホール                  | 一煌会      | 石川天瓦  |

## 来年、令和5年1月の第39回新春展、大作を募集！

産経新春展の“顔”として定着してきた大作。

産経国際書会を代表する力溢れる大作の募集を行います。出品資格を満たせばどなたでも出品は可能ですが、大作は産経国際書会全体の力量が問われます。自薦、他薦ともに下見会を行います。

出品資格 無鑑査以上

出品料 5万円

応募締切 8月31日(水)

応募数 5点(最大7点まで)

下見会 9月15日(木)予定

寸法 4×4m以内

※下見会では、作品に関してアドバイスをを行い、時には書き直しなどをお願いする場合があります。

作品は9月12日(月)までに表具店へ搬入を願います。応募は書会事務局までご連絡ください。

表具代1点10万円まで補助します。但し、6点の場合は8万円、7点の場合は7万円までとします。

## 3年ぶりの研修会、9月24日、25日に東京で開催！

2年続けて中止となった研修会「臨書」を9月24日、25日の二日間、東京都墨田区、JR錦糸町駅前「すみだ産業会館サンライズホール」で開催します。講師は風岡五城理事長、高橋照弘理事長代行、松崎龍翠副理事長、町山一祥副理事長の4人です。どなたでも参加可能です。

内容(予定)

|    | 1日目 9月24日(土)                                 | 2日目 9月25日(日)                           |
|----|----------------------------------------------|----------------------------------------|
| 午前 | 伝統書法への回帰<br>草書<br>松翁 臨「邢子愿千字文」<br>高橋照弘 理事長代行 | 日本的書道の萌芽<br>行書<br>空海「風信帖」<br>松崎龍翠 副理事長 |
| 午後 | 王羲之書法の摂取<br>楷書<br>光明皇后「楽毅論」<br>町山一祥 副理事長     | 天真流露の隸書の世界<br>隸書<br>「漢簡」<br>風岡五城 理事長   |

## 「2021産経ジュニア書道コンクール」受賞者、東京都足立区教育委員会から表彰

文化、スポーツなどの分野で模範となる功績をあげた児童、生徒を表彰する「令和3年度足立区教育委員会 児童・生徒褒賞」受賞者が発表され、昨年の産経ジュニア書道コンクールでいきいき賞受賞の井口柚良さん(弘道小3年)が区長褒賞に、ジュニア賞受賞の宮坂朋花さん、推薦の南部衣久美さん、三木かのんさん(ともに青井小6年)が教育委員会褒賞を受賞されました。(事務局)

## 伊藤牙城理事のInstagramに注目！

昨今、SNSやYouTubeを活用される先生方が増えてきましたが、伊藤牙城理事はその先駆けで、約15年前から当時人気のSNSサイト、ミクシィで定期的にご自身の書を紹介。約5年前からは発表の場をInstagramに替え、ほぼ毎日ご自身の書を紹介、国内外からフォロワーの数も増えているそうです。伊藤牙城先生の名前を入れて検索すればご覧いただけます。同時にTwitter, Facebookでもご覧いただけます。(事務局)



## 感謝 本多道子先生

ゴールデンウィークの初日4月28日に先生の突然の訃報に接し、つい先日までお元気だったので、本当に驚きました。

先生とは私が中学1年生の頃、当時父の主宰する書道誌「鈴振」のご縁で知り合いになりました。毎月ご主人が教授として勤務していた東北大学病院の前のご自宅に「鈴振」をお届けしたのが始まりです。それから60年が経ちました。

私が書を本格的に学び始めた昭和45年頃には、先生は福島市で「書道研究団体 燈心会」を立ち上げ、多くの門人の指導に力を注いでおられました。その頃、故国井誠海先生の同門として、ご一緒させていただき、書を学ぶ姿勢について教えを受けたのは、楽しい思い出です。

平成元年に有志で「書成会」を創設し、先生は推されて初代会長に就任されました。書成会発展のため、銀座松坂屋等で個展開催を重ね、先頭に立ち、ご活躍されたお姿は今でも目に焼き付いております。産経国際書会で副理事長等の重職を担われ、平成19年(2007年)には高円宮賞を受賞なされ、書道界に確固たる地位を確立されたことは皆さんご承知のとおりです。

本多先生の長きにわたるご指導に対しまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。  
常任顧問 田村政晴



平成27年(2015年)の東北展祝賀会にて  
(本多道子先生と田村政晴常任顧問)

## 岡美知子先生を偲んで

岡美知子さんはどこか近寄り難い存在でした。

マイペースでつき進み、産経展への出品数も出来ないものは無理とつらぬきました。第35回産経国際書展では韓国文化院長賞を受賞され、とっても嬉しそうでした。昨年1月、東京都美術館主催の「読み、味わう、現代の書」展に、中野北溟・村上翠亭・小山やす子・榎倉香邨先生方と肩を並べての出品は、嬉しく誇らしい事でしたでしょう。でも嬉しそうな顔をなさらず、いつもの落ちついた岡さんの姿がありました。1月7日会場で姪の方と一緒に岡さんにお会いしました。神奈川の老人施設からタクシーで来られた…との事で、昼食を召しあがっていました。その際、私と娘の食事も支払って下さり、嬉しさをそんな表現で示されました。どんなにかお喜びのことと感じました。

その半月後、夜半にお部屋で倒れられ、意識が回復しないまま1年2ヶ月後、目覚めることなく、旅立たれました。その間に、現日会で功労者表彰(60回出品)を受けられました。また、国立新美術館での現日春季書展にも未発表の旧作を出品され、私達は「岡さんがニコニコ笑って、ご自分の作品を見ているわね。」と話すほど、和やかな日々が終わった翌日、黄泉に旅立たれました。

岡美知子先輩、安らかに眠りください。享年90歳。

名誉顧問 竹澤玉鈴



昨年1月、東京都美術館「読み、味わう、現代の書」展にて、(左から2番目)岡美知子先生

## 追 悼

次の先生が黄泉につかれました。

本会での活躍とご指導ご鞭撻を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。(敬称略)

|      |               |     |               |
|------|---------------|-----|---------------|
| 名誉顧問 | 本多 道子(令和4年4月) | 無鑑査 | 渡邊 洋子(令和4年1月) |
| 参 与  | 岡 美知子(令和4年3月) | 会 友 | 大久保霜月(令和4年2月) |
| 審査会員 | 宇根 龍戒(令和4年1月) | 会 友 | 馬場 光玉(令和4年2月) |

## 編 集 後 記

五月ばかりなどに山里にありく、いとをかし。草葉も水も青く見えわたりたる…季節となりましたが、中々収束しないコロナやこの平和な時代に勃発する戦争など、いとにくくむつかし世の中です。

また3月16日の深夜、東北地方で大きく揺れた地震は東日本大震災を思わせるようでした。被害にあわれた方々には、心よりお見舞申し上げます。

さて新年度もスタートし、新たな役員も加わり39回展に向け活動開始です。

今年の新春展は昨年の沈静ムードに比べてやや活発な動きがあり、初日には思ったより多くの人出で、久しぶりの再会に懐かしむ光景も見られました。

昨年同様、来場出来ない方々にも動画配信での会場風景をお届けしましたが、ご覧頂けましたでしょうか。

これからもコロナと共存しつつ歩んでまいりたいと思います。そして安心して過ごせる時代が1日も早く訪れますようにと祈るばかりです。

(小川艸岑)

(会報編集委員／高頭子翠、小川艸岑、影山瑤琴、早坂喜伊、渡邊麻衣子)

編集・発行 令和4年5月号

〒100-8079 東京都千代田区大手町1-7-2

産経新聞社事業本部内

**産経国際書会事務局**

TEL:03(3275)8902 FAX:03(3275)8974

email : shokai@sankei.co.jp

<http://sankei-shokai.jp/>

<https://www.facebook.com/sankeishokai>

### お願い

会員の皆様に住所・電話番号等の変更があった場合には事務局までご連絡くださいますよう、また、各会書展のお知らせは早めにお願ひ致します。